
ナルト&サスケにチート（？）転生 ～死亡フラグから逃げ続ける怠惰な日々

リョク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ナルト&サスケにチート(?) 転生 〽死亡フラグから逃げ続ける怠惰な日々

【Nコード】

N1018Z

【作者名】

リヨク

【あらすじ】

よくあるチート転生をする事になった二人の少年。ギャグで終るのか？それともシリアスになるのか？

プロローグ：ナルト（前書き）

すみません！！何故か知らないんですけど書きたくなる衝動に駆られました！

プロローグ：ナルト

「突然じゃが転生してもらおう」

「「はっ？」」

目の前にいるお爺さんにそう言われた。

よくある二次創作の転生系だな、普通なら幼女やお爺さんなんだろう。

でも目の前に居るのはそんなものじゃない、身長が2メートル80くらいの高身で髭を生やしている初老だったが筋肉が物凄く、気持ち悪さよりも本当にこんな筋肉が実際にあるんだなあと思わせる…。

その眼は紅く光っており顔は3つあり腕も6つあった。

頭には角、どうみても角、角、角！！

「「ぎゃああああああああああああああああああああ！！」」

「うるさいわっ！」

その瞬間私たちは肉塊に成り果てた。

「ようやく黙ったか」

いいえ、黙らせられたんです、貴方に。

「まあ良い、ワシは見ての通り神だ」

違うだろ、アンタは神様じゃない。

「まあ、それでな・・・」

その後、私たちは長い話しの時間中に何千回も肉塊にされた。
よく壊れなかったな、心が。

「御主等にはNARUTOの世界に転生してもらおう、そっちはナルトに、こっちはサスケじゃ」

拒否権は無いんですね、でもこのままじゃあチート能力をもらえない。

隣に居る馬鹿は「忍術!？」とか言っている……………。

オタツキーなやつ等ならハーレムとか言うんだろうけど……………普通人である私たちが憧れるものはやっぱりその世界だけの力だろう、B○E A○Hなら死神の力とか完現術とか……………。

まあ私も使ってみたいんですけど……………。

「取り合えず、欲しい能力を言ってみよ!!ただし無限の剣製と王の財宝は駄目じゃ、そしてデメリットもあるぞ」

駄目か、私は王の財宝と騎士は徒手にて死せずが欲しかったんだが……………。

デメリットに関しては注意すれば……………

「ん、俺はBLEACHの一護の力で死神の力に虚化に完現術も使用できるようにしといて、次はFate／ZERØの狂戦士^{バーサーカー}の宝具、後はイザナギを使っても失明しない万華鏡写輪眼かな？後は剣の才能と忍術の才能で」

コイツ、特に考えないで決めやがった！！
しかもデメリットあるのを選びやがって！！

「分かったぞ、貴様も早くせよ」

分かりました、だから拳をこっちに向けるのは止めて下さい。

「ならアルトリア・ペンドラゴンが持っていた宝具のエクスカリバーにアヴァロン、カリバーンにプライウエンを下さい、後はナイト・オブ・オーダーとリボルバーを二個下さい、輪廻眼にギルガメッシュの黄金率、才能は剣の才能と忍術の才能で、アヴァロンの不老効果は20超えてからでお願いします」

「お主、中々せこいぞ」

「別に良いですよ」

「あ、俺も追加していいですか？」

「良いぞ」

ヤバイな、あいつ能力を追加しやりました。

「ゴムゴムの実とグラグラの実を下さい」

「良いぞ」

チートすぎますね。

「なら私も「貴様は後一個しかできんぞ」……なら話を聞いてください」

そう言ってあの神様？の耳、耳何処にあるんだ？まあ良いです。

「……貴様、それにするか？」

「無理ですか？」

「いや、ぎりぎり可能じゃ、じゃが本当にその能力しか出来んぞ」

「別に良いですよ」

「よし、じゃあ転生じゃあああ……!!」

あの何でこっちに拳を向けてるんですか？

お願いします、逸らして下さい……やめてくだ

あ、転生したようですね。

何故分かるって？

今、暖かい水の中に居ます、それが答えです。

そして今スッゴイ頭痛いです！！！！

ものすごく時間がたっています。

ようやく生まれたようです。

そして仮面の男がクシナさん、基お母さんから九尾を取り出しました。

この後お父さんが屍鬼封尽を使って九尾を封印するんでしょうが…

……させませんよ!!

アヴァロン
全て遠き理想郷!!!

これを使って九尾とお母さん、お父さんを閉じ込めます、もちろん
仮面の男は外しときます。

「何だコレは!!?」

仮面の男が入ろうとしていますが無駄です!! これは第七次元まで
の干渉を全てシャットダウンする代物です!!
人柱力であるお母さんを完全に癒して治し、その後お父さんによっ
て完全に封印、私は人柱力にはなりません!!
でも大丈夫です!! 私とお父さんがお母さんを守りますよ!!

……あれ? 九尾が大人しい。

「……クシナ、この九尾はナルトに封印する事にするよ」

何ですとー!!?!

その後、結局原作どおりとはいかなくても九尾は封印されました、
わたしに……。

三年後

「……………」

私は今ものすごい落ち込んでいます。

何故って？そりゃあ原作どおりじゃなくお父さんとお母さんはちゃんと生きていますよ！！

まあ九尾は何故か協力的です、アヴァロンをちらつかせたら落ち着きました。

ですからアヴァロンの欠片を渡してとつと九尾をコントロールしました。

まあ良かったんですが……………。

自分の顔が何故かFateのセイバーっぽいですよ……………。

流石に全てが同じなわけではないです、両親の特徴はちゃんと持つてそしてセイバーっぽくなったんです。

これでも男の子です。

かなりショックです！！

『まあ諦めるんじゃない』

「嫌ですー！！！」

中に居る九尾にすら同情されるしまつ……………。

やってられません！！！！

「いってらっしゃい」

「行ってきますー！！」

お母さんにそう言われて私も返しちゃいます、これは癖です。

絶対に男らしく悪になってやります!!

『いや、無理じゃな』

うるさいです!!

私は家を出たあと、川原を歩いていました。

「はあ、本当にこの口癖と女顔はどうにかならないんでしょうか？」

『だから無理じゃろ、諦めよ』

「諦め切れませんよ!! 私はの容姿でこの口調なら間違いなく女の子、もしくはオカマデス!! 私のもっとだんではないになりたいんです!! マスター、カミユをロックで頼む、って言うような大人になりたいんです!! はあどぼいるどになりたいんです!!」

『無理じゃ、諦めよ、今のままだったらオカマ直行じゃ』

「嫌です!! 私にだって好きな女の子が出来て付き合えば小宇宙^{コスモ}が

出来るんです！！男の娘じゃない！！ダンディでハードボイルドな男に！！」

『……………がんばれ』

ついに諦めましたか……………、ハーレムとは行かなくてもやっぱり彼女くらいは欲しいですね……………。

絶対に手に入れて見せます！！

「お嬢ちゃん……………ハアハア！！僕の家……………ハアハア！！来ないかい……………ハアハア！！」

何ですか？アレ……………明らかに危ない人が居ますよ。

「いや、俺男何だけど……………」

「なにい！！？男の娘だとお！！？それはそれで……………ハアハア！！やっぱり一緒に来ないかい？」

……………

『おい、何で黙る？』

「去勢します」

『……………南無』

取り合えずあの子を助けましょう。

「ちょ！！放せ！！」

「いいから僕と一緒に快樂の海へと」そこまでですよー!! ナルト
君スクリーキックー!!!!」ぶへー!!!!!!」

おお!! 新技が決まりました!!

変態は木にぶつかり、気絶しました!

「取り合えず、コレで」

そう言って取り出したのはクナイ

「えいッ!」

「アッーーーーー!!!!」

アハ! 良い悲鳴!! ♪

『…………残酷だな』

九尾は股を押さえながらそう言いました、精神世界って簡単に分かるんですね。

「…………セイバー?」

……何故それを知ってるのか、まさかサスケか?
そう思いながら後ろを見ました。

「…………輝夜?」

髪は短いですが東方の輝夜姫でしたね。

まさかの予想外でしたね、まさかサスケも男の娘に成ってるとは……。

取り合えずサスケには髪を伸ばすように言いました。
いつか女の子になる薬を開発してあげますからね!!

そう思いながら家に帰ろうと思いました。

「……………すまんのう」

……………家の中から三代目のおじいちゃんの声？
取り合えず耳をつけます。

「と、言うわけで滝隠れの七尾の人柱力を預かる事になったのじゃ、ミナト、お主に引き取ってもらいたい」

「良いですけど……………なんですか？」

「ナルトならばきっとあの子の心を開けるはずだからな、わしがもう少し早く行っておれば……………」

死亡フラグ？

プロローグ…ナルト（後書き）

次回はサスケの話

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1018z/>

ナルト&サスケにチート（？）転生 ～死亡フラグから逃げ続ける怠惰な日々

2011年12月3日21時54分発行